

「安全・安心・笑顔と絆のしあわせ美感都市」を推進

修正可決
20 VS 5

一般会計 対前年度比76%増の積極予算

厳しい財政状況の中、真の「市民福祉の向上」につながる効果的な予算となっているのか慎重審議。実効性ある情報教育への見直しを求め、小学校教育用パソコンの更新にかかる費用を減額修正し、賛成多数で可決。また附帯決議を全員賛成で可決。

一般会計予算の修正案

＜予算特別委員会提出＞

・小学校9校分の情報教育パソコン一斉更新費用
1050万円

保守委託継続費に見直し、598万円減額。
(予備費に組替え)

賛成多数で可決

＜共産党議員団提出＞

・国民保護対策経費 22万円減
・大規模スポーツ施設誘致関連費用減額 105万円減
・こども医療費助成経費 900万円増
・人権擁護実行委員会負担金 55万円減
合計718万円を増額し、財政調整基金から繰入。

賛成少数で否決

討論!!

予算特別委員会提出の修正案の修正を断る
予算原案に賛成

福井英昭 議員

①市長3期目のマニフェスト項目実現に向けた積極的な予算である。

菱田光紀 議員

②カーボンマイナスプロジェクトなど特色ある事業推進による環境、農業施策の発展を期待。

藤本 弘 議員

③小中学校耐震化など防災、子育て、教育環境整備などに重点をおいたきめ細やかな予算編成である。

予算原案に反対、共産党議員団提出の修正案に賛成

並河愛子 議員

小学生の医療費助成の拡充など、子育て支援をより充実すべき。大規模スポーツ施設誘致は市民説明が不足、利用形態も不明。財政、治水、環境交通面などで疑問。豊かな自然を活かした取り組みを。

一般会計予算執行に対する議会の附帯決議

全員賛成で可決

大規模スポーツ施設誘致

適否の判断には情報公開、市民的議論が必要である。利用形態、経済効果、周辺環境への影響、治水対策など、市民への説明を十分に行うこと。

※附帯決議とは…議案を可決するにあたって、議会の意志を表明するものとして行う決議のことをいいます。



条例関係

- ・こども医療費助成条例の一部改正
入院医療費助成対象を中学校修了前までのこどもに拡大。
- ・犯罪被害者等支援条例の制定
支援窓口、連絡会議の設置、見舞金支給など支援施策の基本事項を定める。など



多くの傍聴者であふれた土曜議会(3月10日)

3月定例会代表質問

土曜議会を開催

(平成22年9月以来、2回目の開催) 広く傍聴機会の拡大に努め、96名の方にお越しいただきました。

人事関係

次のおり人事議案に同意しました。

◆副市長

勝見 彰 氏

◆監査委員(議会選出)

小島 義秀 議員

◆教育委員会委員

井上 昌啓 氏
栗山 正則 氏

◆固定資産評価審査委員会委員

関本 孝一 氏

次のおり選挙管理委員及び補充員を選出しました。

◆選挙管理委員

八田 成雄 氏
岡野 宗忠 氏
岩崎 多良 氏
野崎 千恵子 氏

◆補充員

小島 香代子 氏
小野 茂 氏
竹形 真一 氏
射場 つた子 氏